

事業年度	毎年2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月下旬
基準日	毎年1月31日
単元株式数	普通株式 100株
公告方法	電子公告 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL http://www.ishiihyoki.co.jp/
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541－8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120－094－777（通話料無料）

【ご注意】

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せ下さい。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。



住 所 広島県福山市神辺町旭丘5番地
電 話 番 号 084-960-1247（代表）
F A X 番 号 084-960-1010
ホームページ <http://www.ishiihyoki.co.jp/>



第43期 報告書

平成27年2月1日 ▶ 平成28年1月31日

CHALLENGE,

ORIGINALITY,

PASSION.

積極的な営業展開と製品の改良施策を推進してまいりました。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当連結会計年度（平成27年2月1日から平成28年1月31日まで）の事業をご報告するにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、一部に弱さがみられますが、緩やかな回復基調が続いております。

先行きにつきましては、雇用、所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待されますが、アメリカの金融政策の正常化が進むなか、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、わが国の景気が下押しされるリスクがあります。こうしたなかで、金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

当社グループの属する電子機器業界のIT、デジタル分野におきましては、テレビの市場については中国における設備投資の拡大に加え、スマートフォンやタブレット端末などは引き続き旺盛な需要を背景に市場が拡大することが期待されております。

このような環境下において、当社グループは市場動向を見極めながら積極的に営業展開を行い、顧客ニーズに応えるべく製品等の改良施策を推進してまいりました。

今後も経営改善計画に従い、当社グループは事業再生を果たすべく、ディスプレイおよび電子部品、プリント基板製造装置分野での安定的な収益基盤の確保、インクジェットコーターの新規事業分野への拡販、直接費率の削減ならびに一層の経費の削減等を行い収益性の向上を進めてまいります。また、収益構造の安定化を図るため、平成26年11月7日付で上海賽路客電子有限公司を子会社化いたしました。

加えて当連結会計年度において、投資有価証券の売却を実施しております。今後も当社が所有する有価証券および遊休の土地、建物、設備の売却による現金化を進め、引き続き財務体質の強化を図る所存です。

今後とも、株主の皆様におかれましては、より一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年4月
取締役社長 山下 敦史



「独創的」な製品作りに情熱を持って「挑戦」し、 会社と社員の永遠の幸福を目指します。

1 世界一の技術集団として
永遠の成長を目指します

2 「人」を大切にし、
活躍の場を提供します

3 地域に根ざした
企業活動を通じ、
経済社会に貢献します

経営哲学

倫理観の共有

企業文化・風土

コンプライアンス
内部統制コーポレートガバナンス

企業価値の向上

Vision

高収益の技術集団

顧客を継続的に創造し、社員に夢を持たせる
安定と成長、キャッシュ・フロー経営の強化

- ①製造業の原点回帰（実行力） ③ボーダレス経営
②適時、適材、適所 ④事業の選択と集中

会社方針

電子機器部品製造装置

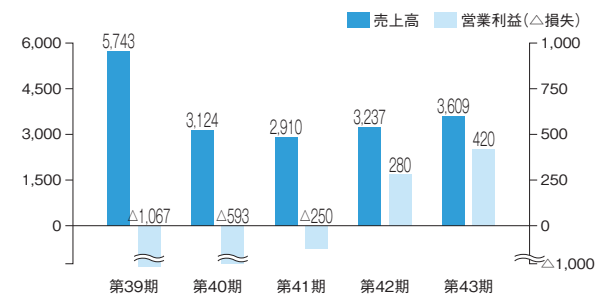
売上高	前期比
36億9百万円	11.5%
営業利益	前期比
4億20百万円	49.8%

プリント基板分野では、直接営業に重点をおいた受注活動を海外子会社の活用や代理店との連携を行いながら進め、当社装置の評価をユーザーから直接聞くことにより、今後の装置開発や改良につなげる取り組みを行ってまいりました。また、装置の消耗品であるセラミックバフにつきましては、顧客の要求に合わせた開発を継続して取り組んでおりますが、直接営業に切り替えを行った効果が出るまでには時間を要しており、売上は減少いたしました。

液晶関連分野では、インクジェットコーターの売上が予定どおりに計上され、また、部品修理売上が増加したことから、売上は増加いたしました。

その結果、売上高は36億9百万円（前連結会計年度比11.5%増）、営業利益は4億20百万円（前連結会計年度比49.8%増）となりました。

売上高／営業利益（△損失）（単位：百万円）



HS研磨機



インクジェットコーター



FBC研磨機



アクアクリーンシステム

【主要製品】

- HS研磨機
- FBC研磨機
- インクジェットコーター
- 極薄基板用研磨機
- 新型超音波洗浄機
- アクアクリーンシステム
- セラミックジェットスクラブ機
- 極薄基板用水洗乾燥機

ディスプレイおよび電子部品

売上高	前期比
57億92百万円	63.6%
営業利益	前期比
3億19百万円	57.5%

アミューズメント向け部分野は堅調に推移しておりますが、前年に比較して若干の減少となりました。

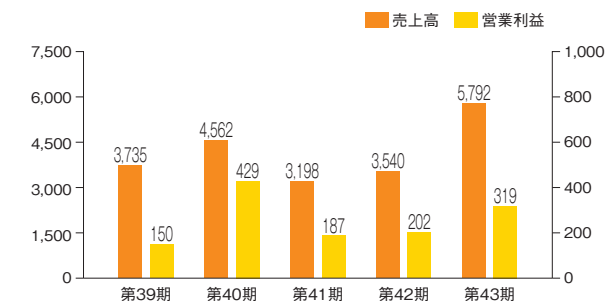
工作機械および産業用機械分野については、横ばいで推移いたしました。製販体制の強化として人員配置の見直しおよび中途社員の採用を実施しており、引き続き取り組みを継続してまいります。

また、子会社であるJPN, INC.において、ラベル印刷、シルク印刷の売上高が増加しております。

加えて、前連結会計年度に子会社となった、上海賽路客電子有限公司の業績が加算されております。

その結果、売上高は57億92百万円（前連結会計年度比63.6%増）、営業利益は3億19百万円（前連結会計年度比57.5%増）となりました。

売上高／営業利益（単位：百万円）



○GOP液晶システム



○スイッチパネル・ユニット製品



○シルク印刷・ラベル印刷・アルマイト銘板

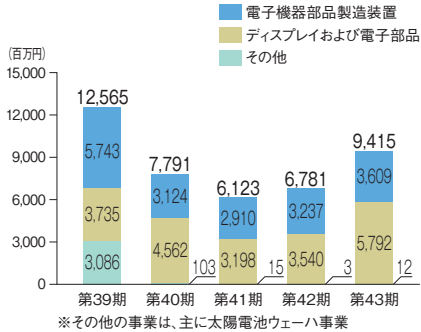


○フィルム形成

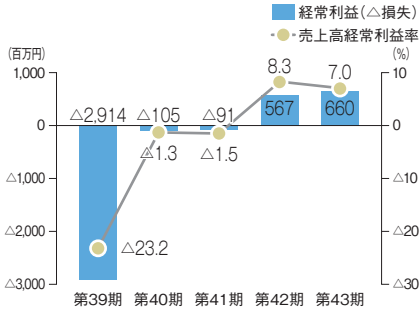


	第39期	第40期	第41期	第42期	第43期
売上高（千円）	12,565,760	7,791,285	6,123,666	6,781,529	9,415,128
営業利益（△損失）（千円）	△2,886,709	△14,903	△18,938	654,116	739,467
経常利益（△損失）（千円）	△2,914,376	△105,025	△91,683	567,030	660,890
当期純利益（△損失）（千円）	△9,856,750	812,996	△100,366	953,762	609,225
純資産額（千円）	△2,139,695	480,007	415,602	1,715,285	2,339,133
総資産額（千円）	11,532,173	10,730,776	10,167,311	12,264,036	11,374,033
1株当たり純資産額（円）	△285.47	△166.41	△167.92	△6.49	72.10
1株当たり当期純利益（△損失）（円）	△1,256.35	102.34	△15.73	117.69	72.16
総資産当期純利益率（ROA）（％）	—	7.58	—	7.78	5.36

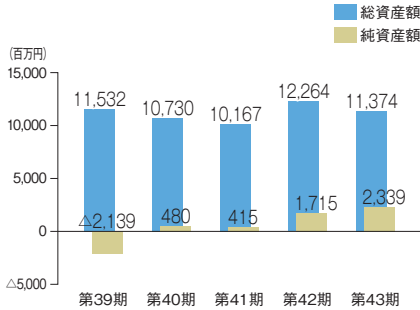
事業の種類別売上高



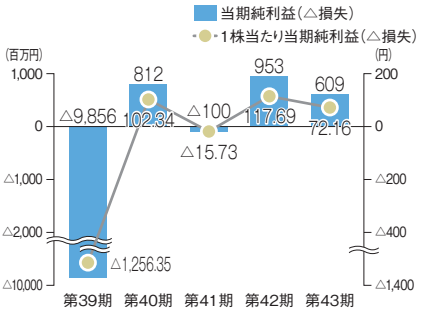
経常利益（△損失）／売上高経常利益率



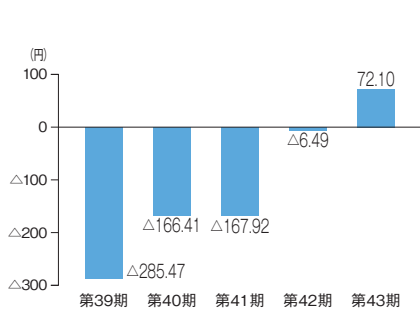
総資産額／純資産額



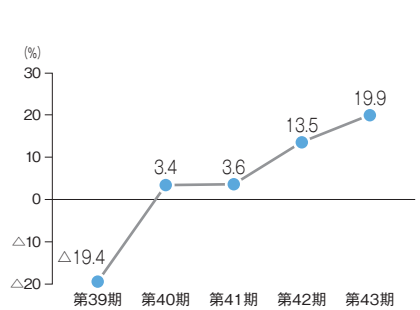
当期純利益（△損失）／1株当たり当期純利益（△損失）



1株当たり純資産額



自己資本比率



上海賽路客電子有限公司の紹介

当社は、平成26年11月に中国、上海の上海賽路客電子有限公司（以下、上海セルコ）を子会社化いたしました。

上海セルコは主にプリント基板への電子部品の実装を手掛けており、中国における日系企業のみならず、欧米企業、中国国内企業などから幅広く受注をいただいております。当社グループにおいてはディスプレイおよび電子部品分野に属し、利益拡大に貢献しております。

管理体制として、当社の取締役3名が上海セルコの役員を兼任し、ガバナンス体制の強化を図るとともに、現地スタッフの自主性、独創性を活かした改善活動を推進し効果をあげております。

今後につきましても、当社グループの重要な拠点として更なる成長を目指し、事業活動に邁進してまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

設 立	平成18年12月4日
資 本 金	21,211千人民元 (持分：株式会社石井表記100%)
決 算	12月31日
従 業 員 数	355名（平成27年12月末現在）
品 質 管 理	ISO9001、ISO14001、 TS16949



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当期末 (平成28年1月31日現在)	前期末 (平成27年1月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	5,985,036	6,788,580
固定資産	5,388,997	5,475,455
資産合計	11,374,033	12,264,036
(負債の部)		
流動負債	7,564,108	7,415,014
固定負債	1,470,791	3,133,735
負債合計	9,034,900	10,548,750
(純資産の部)		
株主資本	2,384,965	1,679,348
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	7,646,744	7,691,708
利益剰余金	△ 5,541,938	△6,292,521
自己株式	△19,839	△19,839
その他の包括利益累計額	△117,021	△28,073
少数株主持分	71,189	64,011
純資産合計	2,339,133	1,715,285
負債純資産合計	11,374,033	12,264,036

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

①

負債
プロラタ返済対象の有利子負債を8億57百万円返済したこと等により前連結会計年度末に比べ15億13百万円減少しました。

②

純資産
当期純利益を6億9百万円計上したことを主要因として、利益剰余金が7億50百万円増加したこと等により前連結会計年度末に比べ6億23百万円増加しました。この結果自己資本比率は19.9%になりました。

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当期 (平成27年2月 1 日から 平成28年1月31日まで)	前期 (平成26年2月 1 日から 平成27年1月31日まで)
売上高	9,415,128	6,781,529
売上原価	6,699,113	4,575,413
売上総利益	2,716,015	2,206,115
販売費及び一般管理費	1,976,548	1,551,998
営業利益	739,467	654,116
営業外収益	94,524	116,641
営業外費用	173,101	203,728
経常利益	660,890	567,030
特別利益	79,962	441,921
特別損失	14,071	4,461
税金等調整前当期純利益	726,780	1,004,490
法人税、住民税及び事業税	79,719	37,292
法人税等調整額	25,260	7,972
少数株主損益調整前当期純利益	621,800	959,224
少数株主利益	12,574	5,462
当期純利益	609,225	953,762

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

③

売上高
前連結会計年度に子会社となった上海賽路客電子有限公司の業績が加算されたこと等により前連結会計年度に比べ26億33百万円増加しました。

個別財務諸表

個別貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当期末 (平成28年1月31日現在)	前期末 (平成27年1月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	4,377,480	5,140,046
固定資産	5,395,982	5,469,592
資産合計	9,773,462	10,609,639
(負債の部)		
流動負債	6,601,210	6,268,127
固定負債	1,366,902	3,115,657
負債合計	7,968,113	9,383,785
(純資産の部)		
株主資本	1,759,194	1,154,309
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	7,646,744	7,691,708
利益剰余金	△6,167,709	△6,817,560
自己株式	△19,839	△19,839
評価・換算差額等	46,154	71,544
その他有価証券評価差額金	46,154	71,544
純資産合計	1,805,349	1,225,853
負債純資産合計	9,773,462	10,609,639

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

④

負債
プロラタ返済対象の有利子負債を8億46百万円返済したこと等により前事業年度末に比べ14億15百万円減少しました。

⑤

純資産
当期純利益を5億8百万円計上したことを主要因として、利益剰余金が6億49百万円増加したこと等により前事業年度末に比べ5億79百万円増加しました。この結果自己資本比率は18.5%になりました。

個別損益計算書

(単位：千円)

科 目	当期 (平成27年2月 1 日から 平成28年1月31日まで)	前期 (平成26年2月 1 日から 平成27年1月31日まで)
売上高	6,352,189	6,128,501
売上原価	4,284,330	4,210,447
売上総利益	2,067,858	1,918,053
販売費及び一般管理費	1,600,277	1,370,656
営業利益	467,581	547,397
営業外収益	127,299	107,244
営業外費用	147,834	171,651
経常利益	447,046	482,990
特別利益	79,962	203,138
特別損失	1,568	4,461
税引前当期純利益	525,440	681,667
法人税、住民税及び事業税	27,494	16,094
法人税等調整額	△10,547	△850
当期純利益	508,493	666,423

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

⑥

売上高
インクジェットコーターの販売が増加したこと等により前事業年度に比べて2億23百万円増加しました。

商 号 株式会社石井表記

設 立 昭和48年4月

資 本 金 300,000,000円

本 社 広島県福山市神辺町旭丘5番地

営 業 所 東京支店（東京都板橋区）

千葉営業所（千葉縣市川市）

横浜営業所（神奈川県川崎市）

名古屋営業所（愛知県一宮市）

大阪営業所（大阪府吹田市）

滋賀営業所（滋賀県栗東市）

明石営業所（兵庫県明石市）

広島営業所（広島県安芸郡）

従業員数 301名（連結 499名）

関係会社 海外 JPN, INC.（フィリピン）
ISHII HYOKI (SUZHOU) CO., LTD.（中国）
上海賽路客電子有限公司（中国）

ホームページのお知らせ

<http://www.ishiihyoki.co.jp/>

ホームページにアクセスしていただきますと、
当社の各種情報をご覧いただけます。

取締役および監査役（平成28年4月26日現在）

代表取締役会長 石 井 峯 夫

取締役社長 山 下 敦 史

常務取締役 平 坂 晋 二

取締役 渡 邊 伸 樹

取締役 山 本 晋 宏

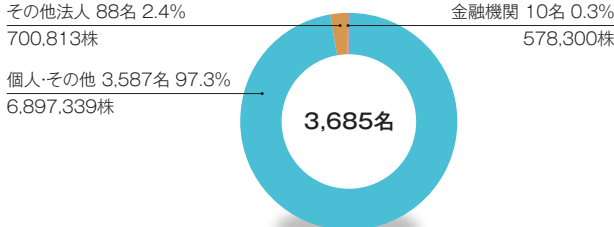
取締役（社外）石 井 裕 工

常勤監査役 小 沢 康 博

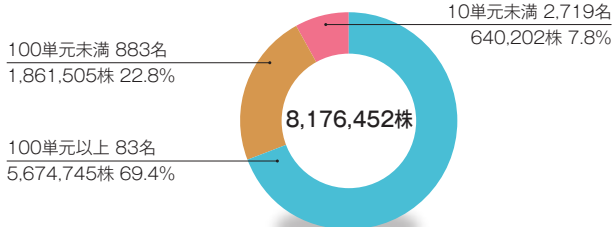
監査役（社外）松 本 蒸 治

監査役（社外）松 浦 勇 三

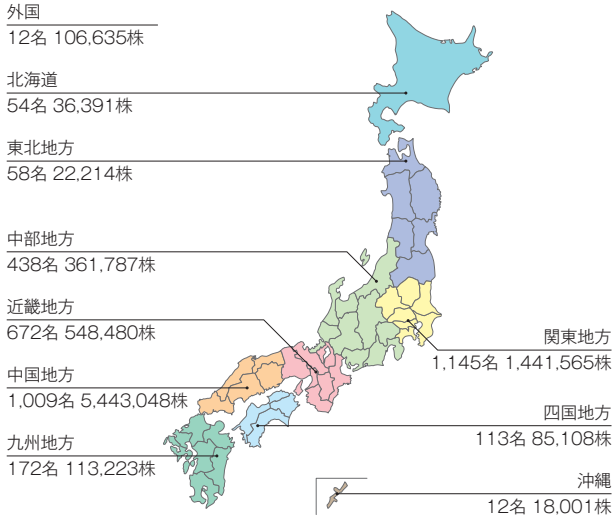
所有者別株主分布状況（普通株式）



所有株式数別株式分布状況（普通株式）



地域別株式分布状況（普通株式）



発行可能株式総数 31,810,831株

株式数

発行済株式総数 8,342,374株

普通株式 8,176,452株

A種優先株式 75,922株

B種優先株式 90,000株

株主数

普通株式 3,685名

A種優先株式 1名

B種優先株式 2名

大株主（上位10名）

株主名	所有株式数	持株比率
石 井 峯 夫	1,908,446 株	23.41 %
石 井 敏 博	615,000	7.54
イシイヒョーキ従業員持株会	537,066	6.59
石 井 幸 蔵	167,060	2.05
石 井 博 幸	161,380	1.98
株式会社三菱東京UFJ銀行	144,000	1.77
石 井 朋 子	138,240	1.70
株 式 会 社 広 島 銀 行	110,000	1.35
株 式 会 社 も み じ 銀 行	108,000	1.32
石 田 勇	85,800	1.05

（注）所有株式数は、普通株式のみ表示しており、持株比率は普通株式の発行済株式総数から自己株式（23,113株）を控除して計算しております。